



# いたばし No.1 実現プラン2018

## アニュアルレポート（平成 29 年度）



板橋区

# いたばし No.1 実現プラン 2018 の 平成 29 年度実績をお知らせします

---

## ■「実施計画」編

「実施計画」編では「板橋区基本計画 2025」（以下「基本計画 2025」）で定めた 3 つの基本目標と、それを実現する 9 つの基本政策に基づき事業を展開しています。また、2 つの都市像「魅力創造発信都市」と「安心安全環境都市」をめざし、限られた経営資源を集中的に投入すべき未来創造戦略を立て、3 つの柱からなる「戦略事業」により重点的に事業を進めています。

平成 29 年度は、実施計画事業の約 9 割が「順調」以上と評価できる実績を上げています。また、平成 30 年度についても順調に事業が展開しており、当初予定した成果を概ね達成できる見込みとなっています。

### 基本目標Ⅰ 未来をはぐくむあたたかいまち

---

計画事業の約 9 割が「順調」以上と評価できる実績を上げています。

#### I－1 子育て安心

認可保育所 6 施設、小規模保育所 3 施設を民間事業者誘致により整備するなど、待機児童解消に向け取り組みました。

#### I－2 魅力ある学び支援

区立中学生のマレーシア国派遣事業や、小中学生を対象とした板橋区版英語村の実施など、国際社会で活躍できる人材の育成に取り組めました。

#### I－3 安心の福祉・介護

認知症カフェの増設や認知症サポーターの活用など、認知症の方とその家族を支える地域づくりに取り組むとともに、医療や介護に係る地域資源を検索できる「医療・介護・障がい福祉連携マップシステム」を構築しました。

### 基本目標Ⅱ いきいきかがやく元気なまち

---

計画事業のほぼ全てが「順調」以上と評価できる実績を上げています。

#### Ⅱ－1 豊かな健康長寿社会

食育の推進や、「いたばし健康づくりプロジェクト」に係る測定拠点の商店街への増設など、区民の健康増進を支援するとともに、シニアの社会参画の促進に取り組みました。

#### Ⅱ－2 心躍るスポーツ・文化

旧粕谷家住宅の東京都指定有形文化財指定や、板橋火薬製造所跡の国史跡指定など、歴史的な魅力と文化の向上に取り組めました。

#### Ⅱ－3 光輝く板橋ブランド・産業活力

ものづくり企業への立地継続支援を 8 社に行い、産業集積維持・発展の促進に取り組むとともに、産業観光ツアーなどを通じて、観光振興の推進に取り組みました。



■「区立中学生のマレーシア国派遣事業」



■「板橋区版英語村」

## 基本目標Ⅲ 安心・安全で快適な緑のまち

計画事業の約8割が「順調」以上と評価できる実績を上げています。

### Ⅲ－1 緑と環境共生

平成29年度から全ての不燃ごみを対象として資源化を行い、当初目標の80%を超える資源化率90.3%を達成することで、最終処分量の削減に取り組みました。

### Ⅲ－2 万全な備えの安心・安全

福祉避難所を新たに2施設整備するなど、要配慮者の受け入れ態勢の確保に取り組むとともに、発災時に起こりうる場面を疑似体験する避難所開設・運営訓練を2施設で実施しました。

### Ⅲ－3 快適で魅力あるまち

区が設置する屋外案内標識の表示内容や、設置方法など、統一的なルールを定める「板橋区屋外案内標識デザインガイドライン」の策定に向けた検討を進めました。



■「旧粕谷家住宅」

## 「戦略事業」の状況

「戦略事業」の約9割が「順調」以上と評価できる実績を上げています。

### 戦略Ⅰ 若い世代の定住化戦略

「いたばし子ども夢つむぐプロジェクト」として、質の高い教育環境の整備や生活支援などを総合的に推進すべく、子どもの生き抜く力の養成・子どもが育つ家庭（親）への支援などに取り組みました。

### 戦略Ⅱ 健康長寿のまちづくり戦略

シニアの健康増進や生きがいづくりを支援する「シニア世代活動支援プロジェクト」をとりまとめるとともに、就労支援セミナーや社会参画促進講座の開催など、地域活動の活性化に取り組みました。

### 戦略Ⅲ 未来へつなぐまちづくり戦略

高島平地域のにぎわい創出における社会実験として、高島平グリーンテラスを開催するとともに、その効果検証を踏まえた高島平プロムナード基本構想を策定しました。



■「高島平グリーンテラス」

## 平成 29 年度の実績

平成 29 年度実施計画事業の事業数・予算額・決算額は以下のとおりです。

事業数	109 事業
予算額	16,891 百万円
決算額	14,751 百万円
差 額	2,140 百万円

## 「行財政経営計画」編

「行財政経営計画」編は、様々な事業を絶え間なく見直すことで新陳代謝を高め、経営資源を最適配分・有効活用することで「実施計画」編（戦略事業を含む）を下支えしています。また、民間活力の活用を推し進め、高度多様化する区民ニーズに民間企業の優れたノウハウを活用し、区民サービスの質の向上を実現しています。

平成 29 年度は様々な業務の委託化等を検討し、特に国保年金課窓口業務については委託化によって削減された職員を保険料徴収に関する業務に充てることで収入率の向上を図りました。

平成 30 年度についても概ね順調に進捗しており、当初計画時を上回る成果を上げられる見込みとなっています。

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度 (見込)	合計 (見込)
財政効果額 (千円)	計画値 (A)	238,349	93,526	59,152	391,027
	実績値 (B)	314,595	33,978	338,675	687,248
正規職員 削減数	計画値 (A)	73 人	14 人	10 人	97 人
	実績値 (B)	69 人	27 人	34 人	130 人



■「国保年金課窓口の様子」





## ■ 「人材育成・活用計画」 編

「人材育成・活用計画」編は、区政の持続的な発展を、経営資源の最適配分・有効活用の観点から担う「行財政経営計画」編と連携し、職員的能力を最大限発揮するための育成と活用をめざした計画です。平成 29 年度は計画事業を全て実施しました。平成 30 年度についても計画どおりの事業展開ができる見込みとなっています。

### 1 MOTENASHI プロジェクト

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を職員的能力向上の好機と捉え、国際性、創造力、発信力等を高める「MOTENASHI プロジェクト」を展開しています。職員が大切にしてきた「もてなしの心」に“板橋の魅力を創る”“板橋を発信する”“板橋に迎える”という観点を加えた、一歩進んだ「もてなしの心」による区政経営をめざしています。

#### ● 「MOTENASHI 研修」

一歩進んだ「もてなしの心」に必要な考え方をまとめた「“MOTENASHI” ハンドブック」を作成しました。併せて、接遇研修の内容も見直し、「MOTENASHI 研修」として新規採用職員と係長職の職員に実施し、区民から信頼される区政経営の更なる実践を推進しました。



■ 「職員と区民が共に学習する大学連携講座」

#### ● 「もてなし英語（大学連携講座）」

訪日外国人を板橋区に迎えるためには、「もてなしの心」を職員だけでなく、区内に広く波及させていくことが必要です。区内の大東文化大学と連携し、区の魅力を訪日外国人に伝えるため、多文化の理解や英会話を、職員と区民が共に学習する講座を開催しました。講座の修了者には、板橋 City マラソンのサポート活動に参加していただきました。



■ 「都市整備部による若手職員研修の様子」

### ● 「板橋の魅力再発見」

区魅力を伝え、交流人口を増加させるためには、職員が区魅力についての理解を一層深める必要があります。区内の東京家政大学や日本語学校と連携し、区職員・大学生・外国人と一緒に区魅力を再発見する事業を展開し、職員が多様な価値観から区魅力を認識する機会を設けました。

## 2 新規採用職員研修

新規採用職員には様々な研修を実施しています。その一部として、約半年の間に、区内の観光スポットや花火大会などのイベントに訪れるという課題を設けています。パンフレット等の情報だけでなく、自らが区魅力と感じたものを持寄り、研修内のグループワークでまとめ、本庁舎1階ギャラリーモールでの展示案として発表しました。

この過程を通じて、新規採用職員が区魅力を実感し、知ることによって区への愛着と貢献意欲の向上を促しています。

## 3 各職場での人材育成活動

職員の育成には職務を通じた指導・育成（OJT）が重要です。各職場で行われているOJT活動の一例ですが、都市整備部では若手職員による調査研究に取り組んでいます。

これは若手職員が上司（係長）と一緒に自身の職務に関する課題についての調査・研究を行い、部内の管理職にプレゼンを行うという内容です。若手職員の職務に関する知識を深めるだけでなく、段取りの立て方、上司への「報・連・相」などを身に付けることも目的としています。

更に、研究やプレゼンを通じて、資料作成技術や、説明力、想定される質問への準備など、区職員として業務を遂行するために必要なことを経験する機会となっています。

今回の活動は、職務への理解だけでなく、職員が調査研究を通じて部内の様々な課題等を共有する中で、部としての一体感が生まれるなど、高い相乗効果のある取組となりました。

## 平成 29 年度の実績

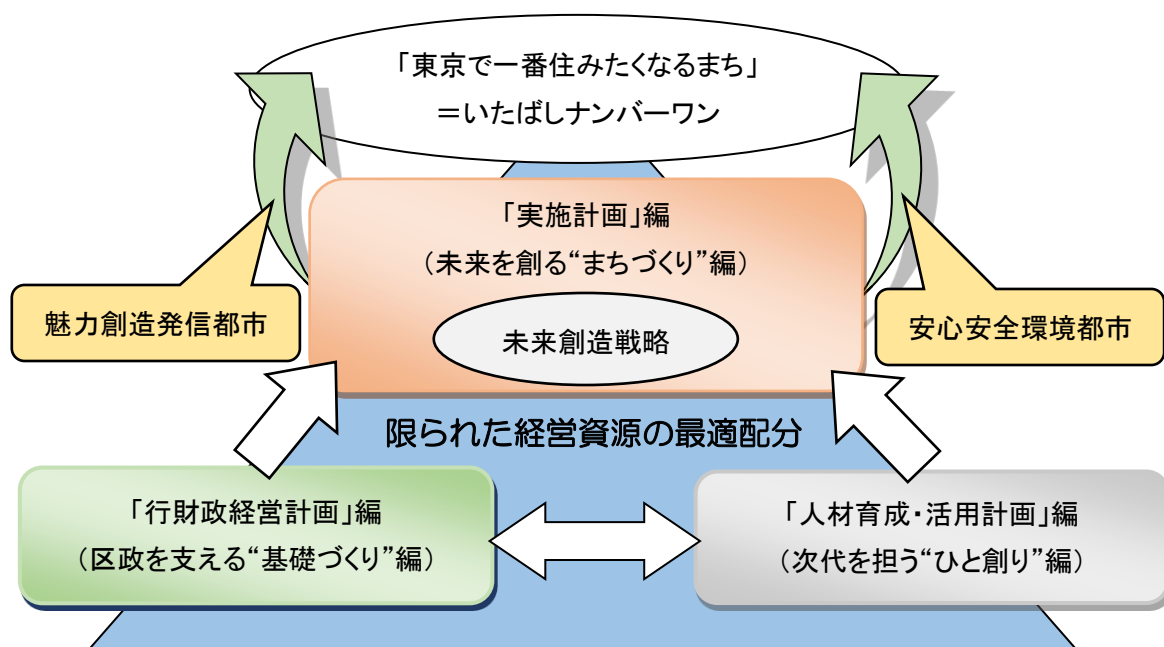
平成 29 年度は以下のとおり職員の育成と活用に資する計画事業を全て実施しています。

体系大分類	計画事業数	実施事業数
1 変革・挑戦する職員への成長	39	39
2 質を追求する組織の開発	20	20
3 戦略的な区政経営の実現	19	19
4 能力を最大限発揮できる環境の整備	11	11
合計	89	89

## いたばし No.1 実現プラン 2018 について

板橋区では、平成 28 年度から概ね 10 年後の区の将来像を「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”」とする新たな板橋区基本構想を平成 27 年 10 月に策定しました。また、基本構想の実現に向け、平成 28 年度から 10 年間の区政の方向性や施策体系を、平成 28 年 1 月に策定した「基本計画 2025」において明らかにしました。

そして、「基本計画 2025」を推進するため、平成 28 年度から 3 か年の具体的な事業をアクションプログラムとしてまとめたのが「いたばし No.1 実現プラン 2018」（以下「No.1 プラン 2018」）です。「No.1 プラン 2018」は、計画的に実施すべき事業を定める「実施計画」編、民間活力の活用と区民サービスの向上を図り、経営資源の最適配分をめざす「行財政経営計画」編、変革・挑戦する職員への成長と区民サービスの質を追求する人と組織づくりを推進する「人材育成・活用計画」編の 3 つの柱が互いに効果を高め合うことで、総合的・効果的な将来像の実現をめざしています。



## いたばし No.1 実現プラン 2021 の策定について

板橋区では、「基本計画 2025」の 10 か年の始動を担う「No.1 プラン 2018」に続く、「東京で一番住みたくなるまち」と評価されるまちを実現化していくステップアッププログラムとして、「いたばし No.1 実現プラン 2021」の策定を進めています。

新たな計画では、「実施計画」、「経営革新計画」、「人材育成・活用計画」の 3 つの柱を軸に、区が潜在的に持つ魅力や経営体力、もてなし力を磨き上げ、未来への価値を引き出し、いたばしナンバーワンに至る次のステップに進んでいくことをめざしています。

基本的な枠組みは現在の計画を継承しながらも、計画の進捗状況や行政評価結果、社会環境の変化等を踏まえ、これまで以上に効果的な計画となるよう検討を進めていきます。



板橋区 〒173-8501 東京都板橋区板橋二丁目 66 番 1 号 URL <http://www.city.itabashi.tokyo.jp/>